

平成28年度 帯広市文化財審議委員会 議事概要

開催日時 平成29年2月24日(金) 13時30分～14時40分
場 所 市役所10階 第3会議室
出席委員 奥野委員長、石原副委員長、池添委員、伊藤委員、
金子委員、熊林委員、千葉委員、山崎委員 8名
事務局 神田生涯学習部長、森川企画調整監、増子文化課長、北沢百年記念館長
杵淵係長、土田主任補

【内容】

1 開 会

2 教育委員会挨拶

- ・ 神田部長より挨拶

3 会長挨拶

- ・ 奥野会長より挨拶

4 議 題

(1) 平成27年度 帯広市文化財保護関係事業実施状況について

【説明】

①文化財調査・保存事業、②文化財活用事業、③アイヌ伝統文化保存・伝承事業について事務局より説明

【質疑応答】

なし

(2) 平成28年度 帯広市文化財保護関係事業実施状況について

【説明】

①文化財調査・保存事業、②文化財活用事業、③アイヌ伝統文化保存・伝承事業について事務局より説明

【質疑応答】

(委員)

- ・ 歴史的建造物等調査事業について、内容を教えて欲しい。

(事務局)

- ・ 過去の古建築調査物件である宮本商産旧日本社ビルについて、現地調査や図面作成、過去の調査の補完等を実施した。

(委員)

- ・ 百年記念館で行われている古文書や依田勉三翁に関する展示や講座等は、今後の文化財指定に関係があるのか。

(事務局)

- ・ 帯広市史関連事業として、帯広市所有の古文書を読み解く講座等を実施している。

(委員)

- ・ 帯広市生活館で実施しているアイヌ関連の講座は、百年記念館で実施しているのか。

(事務局)

- ・ 百年記念館ではなく、札幌のアイヌ文化財団が帯広アイヌ協会と共同で実施している。

(委員)

- ・ 帯広市指定文化財の十勝鉄道蒸気機関車及び客車のほかに現存している鉄道車両はあるのか。

(事務局)

- ・ 市指定文化財以外で十勝鉄道関係の鉄道車両は残っていない。

(3) 今後の帯広市文化財保護関係事業の取り組みについて

【説明】

文化財の情報収集について事務局より説明

【質疑応答】

(委員)

- ・ 旧川原邸の文化財の指定及び所有状況について伺いたい。

(事務局)

- ・ 国、道、市のいずれの指定も受けておらず、所有者は帯広市である。

(委員)

・とち農機具歴史館に珍しい農機具があり、文化財の候補になりえると思うので、有識者等に聞いてみたらよいと思う。

・旧双葉幼稚園にある恩物は非常に文化財的価値が高いと思う。文化財指定や維持管理等について所有者から話を伺ってみてはどうか。

(委員)

・「文化財指定候補推薦物件調査票(案)」について説明願う。

(事務局)

・委員の皆さんから文化財指定候補推薦物件について情報をいただくために作成したもので、この取り組みの方向性についてご意見を伺い、内容について整理し、改めて委員の皆様にご案内したいと考えている。

(委員)

・自分の専門分野以外の物件については価値がわからないので、委員以外で文化財等に関心のある人にも調査票の提出に協力して欲しい。

(委員)

・インターネットでも受付するなどして、PRして欲しい。

(委員)

・多くの意見が出てきて、審議委員会で審議することで、意外と知らないものも出てくると思う。市民からも意見を寄せてもらうように進めて欲しい。

【説明】

文化財の活用について事務局より説明

【質疑応答】

(委員)

・「おびひろ昔ばなし周遊バス」開催の経過と参加人数を教えて欲しい。

(事務局)

・実施主体である十勝圏二次交通活性化推進協議会の活動で、市は情報提供などで協力した。参加人数は夏で272名(1便平均9名)、冬で54名(1便平均2名)。

(委員)

・帯広商工会議所が実施している「十勝の観光文化検定(とち検定)」という地域検定があり、合格者に活躍いただこうということで十勝バス株式会社と協議し、開始した事業と聞いている。現在は日本語だけだが、中国語や英語でも同じ内容が出来れば観光面でも役に立つと思うので、大いに進めていただきたい。継続して欲しい。

(委員)

- ・小学校等にも宣伝したのか。

(事務局)

- ・全校にチラシを配布した。

(委員)

- ・市は後援のほか、資料提供など行ったのか。

(事務局)

- ・文化課としては後援のみ。「おびひろ昔ばなし周遊バス」のボランティアガイドから問い合わせを受け、写真提供等を行った。

5 閉 会